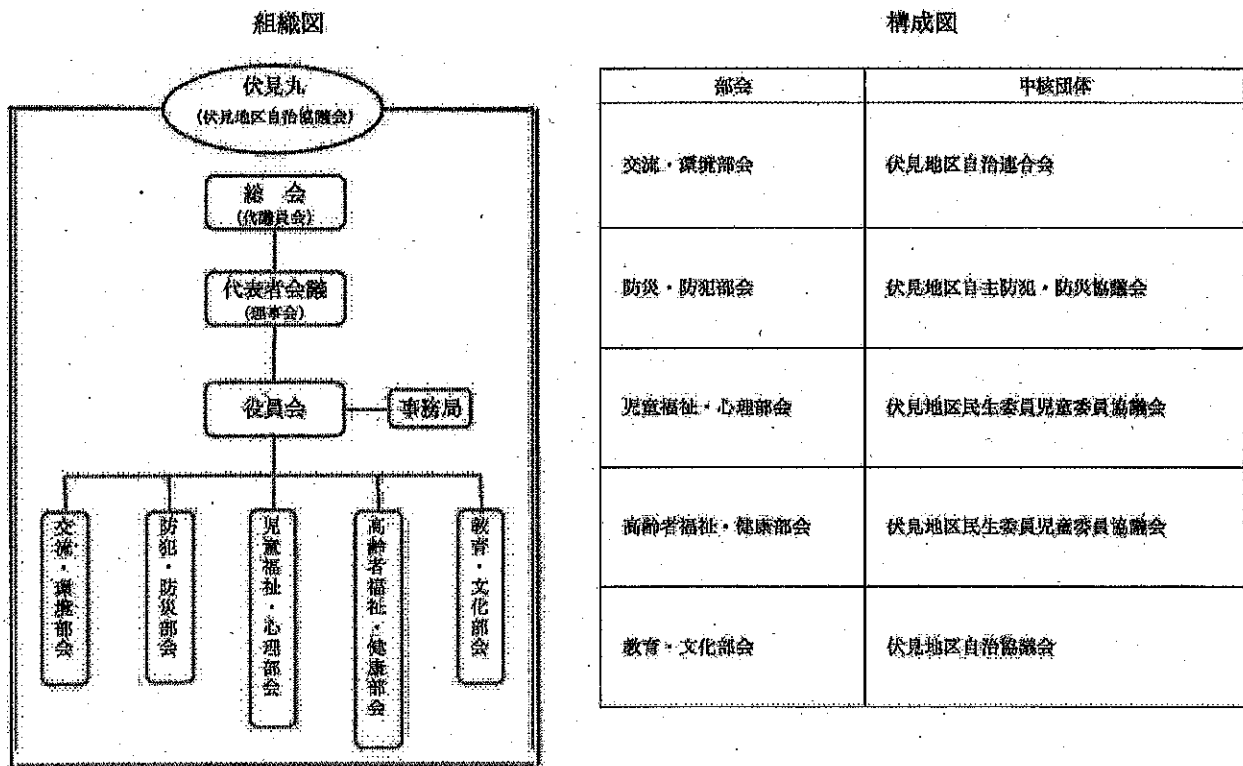


(2) 組織計画

「伏見丸」は2026年度より活動する団体であり、各段階の「自治計画」に盛り込んだ活動は、誰が実行するのかについては、基本的には次のように考えている。

「伏見丸」は、地域の課題を把握した上で、どのように解決するのかをPlanningする組織であり、より多くの方と連携をして解決を目指し、他団体や個人とMatchingするPlatformを提供する組織でもある。取組を実行するのは地元住民であり、既存団体や協力団体、志を持つ個人が実行することになる。



その中心になるのが、「組織図」で示した「伏見丸」であり、最高議決機関である「総会」、審議機関である「代表者会議」、執行機関である「役員会」、そして、その基に活動分野別の「5部会」があり、これが実行機関に相当する。この部会には「構成図」のように、それぞれの分野で大きな役割を担っている中核団体がまとめ役となり、他の代表者会議に所属する団体や協力団体は関係の強い部会に所属し、中核団体と協力・協働して課題解決の取組を進めていただきたい。

課題によっては部会を超えた取組が必要な場合も想定され、課題毎のPlatformを造ったり、他部会と合同で取り組むなど、臨機応変の活動も想定している。

また、代議員や理事の中には、所属団体の分野を超えて、様々な分野に興味・関心・経験を持つ方もおられる。その志を活かすためにも、「他の分野についても協力したい」との意思があれば、個人として所属・活動していただきたいことも想定している。

2026年度は「伏見丸」活動初年度であり、スタートは上記の「組織図」「構成図」から実践を始めるが、地元住民を対象とするため、協力団体制度を設けて、マンションなどの連合会未加入自治会や民間の施設・団体等にも参加を働きかけ、協力団体に勧誘をしたい。更に、助け合う地域づくりに賛同していただける個人についても、個人公募制度を設け、代議員・理事にも参加していただけるようにしたい。そして、一般住民の方